

令和5年度海老名市予算の概要

コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな

予算規模

()内は対前年度比

◆**予算総額** 774億600万円 (33億6,600万円、4.5%増)

◆**一般会計** 485億6,700万円 (23億8,700万円、5.2%増)

◆**特別会計** 239億円 (6億5,300万円、2.8%増)

- ・国民健康保険事業特別会計 123億1,200万円 (9,900万円、0.8%増)
- ・介護保険事業特別会計 92億3,800万円 (3億 700万円、3.4%増)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 22億5,300万円 (1億5,000万円、7.1%増)
- ・公共用地先行取得事業特別会計 9,700万円 (皆増)

◆**企業会計** 49億3,900万円 (3億2,500万円、7.1%増)

- ・公共下水道事業会計 49億3,900万円 (3億2,500万円、7.1%増)

予算総額、一般会計ともに**2年連続の増額で、過去最大**となりました。

歳入(一般会計)

()内は対前年度比

○**市税** 250億9,200万円 (14億3,100万円、6.0%増)

- ・個人市民税 98億5,300万円 (5億8,600万円、6.3%増)
- ・法人市民税 11億9,800万円 (1億7,900万円、17.6%増)
- ・固定資産税 114億 200万円 (5億6,500万円、5.2%増)

○**地方譲与税及び各種交付金** 44億1,000万円 (4億8,800万円、12.5%増)

○**基金繰入金** 12億2,900万円 (△1億4,900万円、10.8%減)

○**市債** 22億7,700万円 (△3,400万円、1.5%減)

歳出(一般会計)

()内は対前年度比

○**義務的経費** 248億3,700万円 (6億9,100万円、2.9%増)

- ・人件費: 84億5,800万円 (1億3,500万円、1.6%増)
- ・扶助費: 133億9,000万円 (4億3,300万円、3.3%増)
- ・公債費: 29億8,900万円 (1億2,300万円、4.3%増)

○**普通建設事業費** 38億1,000万円 (1億8,200万円、5.0%増)

主要事業の概要

人口14万人を見据え、戦略的かつ積極的なまちづくりに取り組むとともに、新型コロナ対策と社会経済活動の両立に向けて令和5年度予算を「コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな」として編成いたしました。

充実して暮らせるまち



■ 駐車場の舗装整備工事の実施 1億2,600万円 〈新規〉

文化会館、図書館、総合福祉会館の利用者駐車場は、西側の大部分が未舗装状態であるため、排水設備を備えたアスファルト舗装整備を実施します。

■ 国際化事業の充実 260万円 〈新規〉

外国籍住民アンケート調査や国際窓口の設置を行い、市内在住の外国籍住民が安心して生活していくことができるように、多文化共生事業を進めます。



国際化事業のイメージ

健やかに暮らせるまち



■ 子ども医療費助成の対象年齢の拡大 6,500万円 〈新規〉

子ども医療費助成について、近年の医療費の高額化や子育て環境を取り巻く情勢の変化に対応するため、対象年齢を0歳から満18歳に達する日以降の最初の3月31日までに拡大します。

■ 帯状疱疹ワクチン、特定不妊治療の先進医療の費用助成 980万円 〈新規〉

帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成することにより、発症を予防し、市民の健康増進を図ります。また、特定不妊治療の先進医療にかかった費用を助成します(上限5万円)。



にぎわいがあり自然に優しいまち

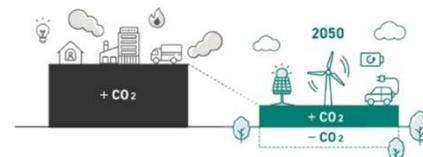


■ にぎわい振興事業補助金の創設 200万円 〈新規〉

海老名市のにぎわいをより一層創出するため、市全域を参加対象者にしたイベントに対して補助金を交付します。

■ ゼロカーボンシティの推進 860万円 〈新規〉

令和32年度までにCO2排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティ宣言を達成するため、温室効果ガス排出状況の把握や再生可能エネルギー導入可能性などについて調査検討を行います。



便利で快適に暮らせるまち



■ 市役所周辺地区一般保留区域の市街化区域編入事業の推進 1,700万円 〈新規〉

市役所周辺地区の一体的なまちづくりを推進するため、開発行為等の事業促進における協議と都市インフラの維持・管理を見据えた整備に関する協議・調整を進めます。

■ 市道3号線道路災害防除事業の着手 6,600万円 〈新規〉 《継続費》

道路脇、斜面の崩落に伴う事故を未然に防止し、道路確保を図るため、国分北三丁目地内の市道3号線の道路斜面安全対策を実施します。



道路斜面補強イメージ

豊かな学びを育むまち



■ 不登校児童生徒の学習支援や心のケアの拡充 1,400万円 〈新規〉

不登校または不登校傾向の児童生徒に対して、ICT学習ツールを活用し学習機会を保障します。また各小学校内の別室教室の支援員の充実及び心のケア等を実施します。



別室教室のイメージ

■ 中学校完全給食の早期実施に向けた 中学校給食の一部実施 880万円 〈新規〉

中学校完全給食の早期実施に向け、食の創造館の予備能力を活用し、中学校給食を一部実施します。



給食のイメージ

安全で安心して暮らせるまち



■ 消防団員への免許取得費用の補助 100万円 〈新規〉

道路交通法の改正による準中型免許の新設に伴い、準中型免許取得に係る費用を補助することで、消防団車両の機関員の確保を図るとともに、団員加入促進の一助とし、災害対応の体制強化に努めます。

■ 消防署南分署建替事業の推進 3億6,500万円 《継続費》

老朽化した南分署の移転・建替により、災害に強い頑強な庁舎とすることで、迅速確実な出動体制を構築し、「安全・安心なまち」を維持し続ける消防体制を目指します。



消防署南分署のイメージ

かがやきを創造するまち



■ 市職員用スマートフォンの導入 1,000万円 〈新規〉

内線電話機能を有したスマートフォンの導入により、市民サービスの向上や災害時の業務体制強化、デジタル化の実現を図ります。

■ 公共施設再編（適正化）計画の改定 340万円

海老名市公共施設再編（適正化）計画について、現計画の実績等の既存資料の時点修正のほか、社会環境や財政状況の変化及び総務省の策定指針の見直しを踏まえた改定を行います。



スマートフォン導入の実施予定イメージ

新たな発見ができるまち



■ 魅力あるシティプロモーションの展開 160万円

市の魅力をデザインした割り箸袋やえび〜にや着ぐるみの作成を行い、海老名の魅力を発信するとともに、郷土愛の醸成を図ります。



令和4年度補正予算との一体的な予算編成

物価高騰に対する経済支援事業など、令和5年度事業の一部を前倒しで実施するため、令和4年度補正予算と、令和5年度当初予算を一体的に編成しました。

○ 予算額 一般会計予算総額 508億9,000万円

- ・ 令和5年度一般会計当初予算額 485億6,700万円
- ・ 令和4年度一般会計補正予算へ前倒した額 23億2,300万円

物価高騰に対する経済支援事業 15億5,900万円

- プレミアム付商品券の発行 15億5,900万円 〈新規〉
原油価格・物価高騰による影響を受け、引き続き、厳しい状況が続いている市民の生活支援及び消費喚起による地域経済の活性化を図るため、市内でのみ使用可能なプレミアム付商品券を発行します。

その他の主な事業 7億6,400万円

- 小中学校の校舎及び屋内運動場の整備 7億300万円 〈新規〉
市立小中学校の校舎及び屋内運動場LED化改修工事などを実施します。
- ひさご塚隧道補修工事などの道路事業 6,100万円 〈新規〉
市道大谷峰線ひさご塚隧道補修工事などを実施します。



デジタル化の充実

令和5年1月16日からスタートしたスマート窓口について、デジタル技術を活用し、市民の利便性向上と行政運営の効率化を図る予算を編成しました。

＜スマホ市役所画面イメージ＞

○スマホ市役所の実装 720万円（新規）

海老名市LINE公式アカウントをリニューアルします。イベントの申込みや各種申請などを24時間365日、スマートフォンからLINE上で手続きができるスマホ市役所を実装し、市民の利便性向上を図ります。



○スマート申請の拡充 480万円

＜スマホ市役所手続イメージ＞

オンライン上で完結できる手続を、市民総合窓口及び福祉総合窓口の手続にも拡大し、市民の利便性向上を図ります。



市債及び基金残高の状況

○令和5年度の市債残高は407億2,400万円（前年度比8億6,600万円の減）、基金残高は86億8,900万円（前年度比1億200万円の増）となる見込みです。

区分	令和3年度末	令和4年度末	増減額	令和5年度末	増減額
市債残高	40,080,410	41,589,282	1,508,872	40,723,714	△865,568
一般会計	28,000,121	29,773,814	1,773,693	29,214,386	△559,428
特別会計	-	136,000	皆増	205,400	69,400
企業会計	12,080,289	11,679,468	△400,821	11,303,928	△375,540
基金残高	7,746,073	8,586,158	840,085	8,688,577	102,419
財政調整基金	2,836,461	3,094,732	258,271	3,297,372	202,640
新まちづくり基金	1,193,344	1,340,529	147,185	1,366,570	26,041
公共施設等あんしん基金	2,435,241	2,545,677	110,436	2,598,795	53,118
その他基金	1,281,027	1,605,220	324,193	1,425,840	△179,380

注：特別会計で管理する基金は除いています。

お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課
 電話 046-235-8453（直通）
 F A X 046-233-9118
 E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp